

「愛知県糸東会空手道選手権大会競技規程」

(形競技)

1. 競技は赤、青のフラッグ式、トーナメント制を採用し、各コートにて決勝まで行う。
2. 幼児・小学 1、2 年生はベスト 16 まで基本形、平安二段又は三段より選出。(同じ形の連続可) ベスト 8 以降は平安初段～五段及び第 1、2 指定形もよいし予選で使用した形もよい。

(1 回戦から決勝まで同じ形でよい。最低 1 つの形で OK)

3. 小学 3、4 年生はベスト 16 まで平安初段、二段、三段より選出。(同じ形の連続可) ベスト 8 もこれまで使用した形と平安四段、五段及び第 1、2 指定形もよい。
但し準決勝、決勝はこれまで使用した形は使用してはならない。(最低 3 つの形で OK)
4. 小学 5、6 年生はベスト 16 までは平安四段、五段より選出。(同じ形の連続可) ベスト 8 もこれまで使用した形と平安初段、二段、三段及び第 1、2 指定形もよい。
(自由形可) 但し準決勝、決勝はこれまで使用した形は使用してはならない。

(最低 3 つの形で OK)

5. 中学生は、1 回戦は「第 1 指定形」。以降 (3 位決定戦を含む)、第 1、2 指定形 (どちらでもよく、連続可) より選出。但し決勝はこれまで使用した形を使用してはならない。(自由形可) (最低 2 つの形で OK)
6. 少年・一般・シニア男女は 1 回戦「第 1 指定形」より選出。以降 (3 位決定戦を含む) は第 1、2 指定形 (どちらでもよく、使用した形、連続可) とする。但し準決勝、決勝は一度使用した形を使用してはならない。(自由形可) (最低 3 つの形で OK)
7. 選手は演武する前に必ず演武する形名を記録係に伝えること。

(組手競技)

1. 競技はトーナメント制。組手競技の勝敗は各クラスとも 6 ポイント先取、各コートで決勝まで行う。
2. ポイントの参考例は、突き技が上・中段とも 1 ポイント。蹴り技は中段が 2 ポイント、上段が 3 ポイント。相手を足払い等で倒した技からの突き技は 3 ポイント。
3. 競技時間については幼児・小学生が予選～決勝戦まで 1 分 30 秒フルタイム、中学生以上については男女共予選～決勝まで 2 分のフルタイムとする。
4. 小学 3 年男子以上はファールカップ装着義務。なお各クラス、インステップ・シンガードの着用は任意。一般男子、女子は素面にてマウスピース着用。インステップ・シンガード、ボディプロテクター着用。(シニア男女はこの限りではなくメンホー着用)
5. 本大会では 10 カウントルールは採用しない。治療を優先とする。
6. カテゴリー 1、2 の反則について審判員は厳しく対処し、事故の未然防止に心がける。

※各競技の判定はコート長および主審に一任し、判定についての抗議等は一切認めない。

(ゼッケンについて)

以下の要領で作成ください。各クラスの記載は実施要項掲載種目でお願います。記載例は次の通り。「シニア男子 1 部」「シニア女子 1 部」「一般男子 (軽)」「中学生 1 年男子」、「中学生 2 年女子」「一般男子形」でよい。

小 6 男子 糸東 太郎

「台紙：白布 縦 15 cm、横 20 cm」

→ クラス：黒字

→ 名前：黒字